

東北管区警察学校

東北管区警察学校の紹介

東北管区警察学校は、主として東北管内各県警察の警察職員を対象に、警察幹部として必要な知識・技能等の養成を目的とする幹部教育機関です。

本校は、昭和23年7月、仙台市山田旗立（現仙台市太白区）に「仙台管区警察学校高等部」として開校して以来、名取郡玉浦村（現岩沼市）、仙台市榴ヶ岡の地を経て昭和50年3月に現在の多賀城市に移転しました。

この間の昭和29年7月には現行警察法の施行に伴い、「東北管区警察学校」と改称し、現在に至っています。



当校では、東日本大震災の教訓を伝承するため、震災遺構視察を授業に取り入れています。